見て、ふれて、食べて、感じる
畜産試験場公開デー２０１５

道立総合研究機構畜産試験場（山本裕介場長）公開デーが8月7日、同会場で開催され、町内外からおよそ380人が訪れました。

施設や研究成果を公開し、多くの人に畜産の世界を知ってもらおうと毎年行われており、大勢の家族連れなどでにぎわっていました。

搾乳や牛の心臓の音などを聞く獣医師体験や搾乳体験、羊毛を使ってのフェルト作り、羊やひよこと触れ合えるコーナーが子どもを中心に大人気。このほか、バスに乗っての場内見学や、飼い方の違いにより牛の肉の味はどう変わるのかを食べ比べる「（黒毛和牛の）食味テスト」なども行われ、多彩な内容を通して畜産を身近に感じる機会となりました。

一番人気なのはやはり豚肉の試食。場内で飼育された畜試産豚肉を300人が炭火で試食しました。

来場者からは「肉がとてもやわらかい」などの感想が聞かれました。

この「公開デー」は住民に畜産を知ってもらうだけでなく、肉の評価などについてアンケートを提出してもらうことによって、試験場の研究などに役立てられるという目的もあります。

←豚肉の試食　←獣医師体験　→ひよことのふれあい　→搾乳体験

出会いを大切に　友好の絆を深める
屈中・富村牛中学生修学旅行で東根市を訪問

屈足中学校と富村牛中学校の3年生16人が8月26日、山形県東根市立第三中学校を訪問しました。

8月25日からの東北への修学旅行の際に訪れたもので、7月には東根三中の生徒が修学旅行で来町し、屈中の生徒と交流を図っていました。

初日の25日には、被災地の石巻市を見学するなどし、2日目に東根三中を訪問。午前中に友好都市提携に尽力された大江権八氏の講演を聞き、昼食時には山形の郷土料理「芋子汁」が振舞われ、新得町の生徒たちは「美味しい」と感激した様子でした。午後からは、7月の交流の際の印象やエピソード、友好の絆としてできることなどをテーマとしてグループ討論などを行い、この討論で出たものを両校で約束する盟約式を行いました。両校の生徒たちは「おじいちゃん、おばあちゃんになっても、連絡を取り合えるといいな」と話していました。

また、3日目の最終日には、仙台駅周辺で道行く人々に「新得町を知っていますか」などと尋ねながら、観光パンフレットと新得そばの乾麺を配りながら「わが町新得町」の観光PRを行いました。

3校の生徒が一緒に行ったグループ討論の様子

仙台市内での観光 PR の様子

富村牛小６年愛澤奈央くんが全道大会へ、まちづくりレターの回答、ひとこと手話講座

あきらめずに一点でも多く
富村牛小6年愛澤奈央くんがバトミントンで全道大会へ

第34回北海道小学生バドミントン大会（8月29日、30日、芦小牧市）への切符を手にした富村牛バドミントン少年団の愛澤奈央くんが8月10日、町長室を訪れ、浜田正利町長に健闘を誓いました。

富村牛バドミントン少年団からの全道大会出場は、平成17年以来10年ぶり。

全道大会初出場の愛澤くんは「強い相手にもあきらめずに一点でも多く取りたい」と意気込みを語り、浜田町長は「自分のやってきたことを大会の中でどうパフォーマンスできるかが大事。頑張って」と激励しました。

Voice　ボイス　―町の声―
※2月以降にまちづくりレターでいただいたご意見などを掲載しています

●駅内跨線橋へのエスカレーターなどの設置について

帯広からの帰りに汽車が遠い反対側のホームについてしまい、足が悪い友達は階段を上り下りすることが大変でした。

駅にエスカレーターなど付けてもらいたいと思いました。

（70歳代・女性）

お答えします

駅の2番ホームへの上り下りの利便向上について、JR新得駅にお話ししたところですが、現状において、エスカレーターを設置することは困難な状況にあるということです。また、ホームを渡らない1番線の活用については、現在も列車ダイヤ全体の中で、できる限り行っているとのことでした。

その上で、同様の課題は他の駅にも共通するところであり、昇降機なども含めて対応を検討いただくよう要望しています。

（地域戦略室地域戦略係）

●本通りのインターロッキングについて

本通りの舗道のインターロッキングは見た目はとてもきれいなのですが、目地の草が生えてきていつも草取りをしていますが、すぐ生えてきて大変な思いをしています。

もし、よろしければインターロッキングを止め、普通の舗装にならないでしょうか。そうすれば草を刈る必要がなくなり少しは楽になると思います。

（60歳代・男性）

お答えします

本通り歩道の舗装箇所に比べ、損傷が少ないため、改修は難しく、目地の雑草処理においては、除草剤は使用できないため、地先のご協力をいただき、現状のままとする事でご了承をお願いいたします。

（施設課公園道路係）

ひとこと手話講座
～No.15～

○名前

左手の平を立てて
右手親指をあてる

または

右手２指の輪を左
胸にあてる

○誰

右手指の背をほおにあて、こするようにうかす